



我孫子市議会議員  
久野 晋作  
くの しん さく

# 「まちづくり」活動報告会

我孫子の“今”と“将来”をお話しします

- 1月31日（日）9:30～11:30 新木近隣センター
- 1月31日（日）14:00～16:00 湖北台近隣センター

テーマ  
**1**

## 公共施設利用料金等の大幅値上げについて

今、最も大きな市民の関心事です。にもかかわらず、市は市民に向けて十分な説明と同意を得る努力をしていません。料金値上げを急ぐより、「これから行政サービスのあり方」や、「公共のあり方」について、市民とじっくり話し合うべきではないでしょうか。また、予算の無駄遣いを徹底的に無くしたり、市役所業務の効率化をいっそう進めて、人件費を削減していく事の方が先なのではないかと思うのです。



新木近隣センター



湖北公民館

テーマ  
**2**

## JR我孫子駅舎改造問題について

厳しい財政状況の中、本当に今、市が巨額の税金を投入してやらなければならない事業なのでしょうか。23.5億円もの費用負担の方針を示しながら、計画・設計の内容については全てJR側に一任してしまう考えです。仮に本当に必要な事業であったとしても、「駅舎」はまちの玄関口であり、「顔」でもあります。歴史と文化の香り高い我孫子のまちの玄関にふさわしい「駅舎」はどうあるべきか、しっかりと市民が議論や企画に参加して、大切に創り上げていくべきものだと思います。しかし、市民会館の閉鎖以降、文化施設の「核」を失ったままの我孫子にとって、「駅舎」よりも優先されるべき施設づくりがあるはずです。



“にわかづくり”的感が否めない我孫子駅改造の完成予想図



紙面では書ききれないこと、お伝えしたいことが山ほどあります。どうぞお気軽にご参加下さい！！

テーマ  
**3**

## 星野市長への3つの質問

任期も残すところあと1年となった星野市長に、3つの質問をしました。①厳しい財政状況に鑑み、自らの退職金を「市民感覚で見直す」と公約して当選した市長ですが、いまだに明確な方針を明らかにしていません。②市の広報やホームページの内容、パブリックコメントの方法など、行政から市民への重要な情報公開機能を、もっと親切に、わかりやすく、効果的に使えるよう、改善するべきではないかと思います。③子ども達の夢を育み、自己実現に向けた具体性を持たせるのは家庭・地域・学校の責任です。中学校での「立志式」の実施を提案しました。



## 市民に追加負担を求める一方で 不急の大型事業に着手!?

▼昨年の『広報あびこ・11/1号』に「平成21年度予算編成は今までにない厳しい状況に…経常的事業で5億円の財源不足、基金残高も減少、思い切った事業見直しを」という内容の記事が掲載されました。

▼今年は『広報あびこ・11/1号』で「平成22年度予算編成：昨年以上に厳しい状況に…優先順位に基づき、廃止を含めた事業見直しを引き続き実施します…」「収支概算見通しにおいて経常的経費で約5.5億円の財源不足が明らかになった」との記事が掲載されました。

▼同じ紙面で星野市長は「【市民生活になくては困る事業】を実施するために、【あった方が良い事業】は廃止を含めて経費削減につながる見直しを行う」と述べています。しかし一方で、概算で23億5千万円もの巨額の費用を投じることになる我孫子駅舎の改造工事を行う方針を変えています。

はたして我孫子駅舎の改造工事は  
**「本当になくては困る事業」**  
と言えるのでしょうか？

▼先の議会では「反対・中止・延期・見直し」を求める複数の陳情が市民から出されました。市長はこれほどの大型事業の意思決定にあたっては、もっと十分に市民の意向を調査し、合意形成を計るべきです。

▼国の事業仕分けで、「まちづくり交付金」にもメスが入ったことで、これを財源として当て込んだ計画であるために、事業そのものが宙に浮く可能性も否めません。

▼計画内容や費用についてはJR側の都合が優先され、市側として駅舎のデザインや機能性について、主導的にマネジメントしていくしくみや、予算額を積算・査定するシステムを全くつくろうとしていないことも大きな問題です。

◆財政問題に触れずに問えば、多くの市民は「自由通路は広く便利にして欲しい」と答えるのは当然のことです。その数が多くなったからといって、「事業計画に信任を得られた」とは言えません。本当に市民生活を第一に考える市長であれば、優先順位の判断は自ずとつくはずです。もう一度冷静かつ市民目線での賢明な判断をしてほしいものです。



久野 晋作・プロフィール

1972年4月20日生（37歳）

わだ幼稚園（布佐）新木小学校・湖北中学校 卒業  
日本大学習志野高校・日本大学国際関係学部卒業  
1995年 株式会社ノーリツ入社

2002年 久野FP法務事務所開設（行政書士）

2007年 我孫子市議会議員選挙にて二期目の当選



活動ブログ  
「晋作の歩み」  
更新中です！

編集・発行／我孫子まちづくり政策研究会  
事務局／我孫子市新木野4-3-18 〒270-1114  
TEL：04-7105-0881 FAX：04-7106-8082  
E-mail：kuno@shinsaku.info

## スナップ あびこ



はやして鳥を追い払い、燃えさかる炎を仰ぎ見て豊作を祈ります。炎が静まると、竹の先に刺した丸餅を残り火にかざして焼きます。この餅を食べると一年間病気にかかるといわれています。

写真は10日（日）、新木小学校の校庭で行われた、新木地区まちづくり協議会主催の、「第12回みんなの『あわんとり』」です。地域の歴史と文化を継承する大切なイベントであり、同時に、進みゆく都市化の中で薄れていく、地域のコミュニティ再生のためのヒントにもなる光景として、熱いものを感じながら参加しました。

国民作家と謳われた司馬

遼太郎の傑作「坂の上の雲」

と「竜馬がゆく」。幕末から明治維新期の新しい国づくりの物語。必死にそして力強く生き抜いた若者たちの群像が描かれています。

20代から30代の若き下級侍たちが奮闘し、我が国はかろうじて植民地化を免れ、

明治国家建設が成し遂げられました。



時は変わり、21世紀に入って10年が経った現在、私たちはまさに大きな時代の転換期に直面しており、いよいよ未踏未開の地に足を踏み入れたという感があります。団塊ジュニアと呼ばれる我々の世代が地方議会に「本格的に参入」していったのは7年前の統一地方選挙でしたが、昨年は、30代市長が全国各地で次々と誕生したことが、非常に印象深い年になりました。

こうした流れは「時代の要請」であり、必然にも近いものがあると私は感じています。いたずらに今を嘆き、文句や批判を言っているだけでは何も変わらない。だからこそ【平成の坂の上の雲】を目指し、立ちはだかる困難や壁にひるまず、一歩一步着実に前進していく年にしていきたいと、閑かに心に誓いました。 圖